

【平成 28 年度 えべつ未来戦略推進計画書】

戦略 1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間 平成 26 年度～平成 30 年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績		予算額							
	H26年度		H27年度		H28年度					
					当初		H27補正		計	
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643	千円	3,996	千円	4,416	千円	0	千円	4,416	千円
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920	千円	3,779	千円	4,886	千円	4,892	千円	9,778	千円
計	8,563	千円	7,775	千円	9,302	千円	4,892	千円	14,194	千円

戦略プロジェクト 1 A 多様な主体が協働するまちづくり**【プロジェクトの目標】**

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

◆成果指標 1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
23.1	21.7					35.0

◆成果指標 1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
38.7	36.8					50.0

< 28 年度の方針 >

戦略プロジェクト 1 A 「多様な主体が協働するまちづくり」では、成果指標 1 A-1・1 A-2 とともに初期値から横ばい傾向となっていることから、協働を担う人材の発掘・育成につながる事業を重点的に実施するとともに、事業内容をより効果的なものに見直し、さらなる協働推進の環境整備を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「協働によるまちづくり」では、平成 27 年 10 月から施行した「市民参加条例」に基づき、市民参加の機会の充実を図るとともに、条例の市民周知を進める。また、協働を知ってもらふ啓発事業の対象を小学生から中学生にも拡大し、さらなる協働意識の向上を図る。

◆推進プログラム②「協働を担う人づくり」では、自治会役員の担い手となる人材を育成するため、えべつ地域活動運営セミナーを引き続き実施するほか、自治会活動での女性の活躍を支援するため、女性意見交換会や女性対象セミナーを新たに実施する。また、市民活動団体の担い手を発掘・育成するための市民協働啓発セミナーを引き続き実施する。

◆推進プログラム③「協働に取り組むための組織づくり」では、自治会活動及び市民協働に関するホームページの内容を充実し、市民協働に関する情報発信を強化する。また、平成 27 年度に自治会等に対する市民活動団体による出前講座のメニューが整ったことから、平成 28 年度から市民周知を行うとともに、出前講座の実施を支援し、さらなる協働事業の伸展を図る。

◇推進プログラム１Ａ－① 協働によるまちづくり

<課題>

- 市民参加・協働に係る制度の整備
- 協働に関する意識の向上

<取組の概要>

- ・市民参加条例の制定（完了）
- ・小中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
市民参加条例制定事業	制定された条例の本数	0 本	1 本	—	H27年度完了
	事業費	625 千円	109 千円	— 千円	
協働を知ってもらふ啓発事業	啓発を受けた小学生	2,370 人	1,943 人	1,006 人	
	啓発を受けた中学生	—	—	1,057 人	
	事業費	1,149 千円	466 千円	1,020 千円	

◇推進プログラム１Ａ－② 協働を担う人づくり

<課題>

- 高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 自治会加入率の向上
- 活動意識の向上
- 自治会役員の担い手となる人材の育成

<取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催（えべつ地域活動運営セミナー・女性意見交換会の開催）
- ・自治会活動の手引きの作成
- ・市民活動団体の担い手を発掘・育成するための市民協働周知啓発セミナーを開催

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
協働を担う人材育成事業	セミナー等参加者数	0 人	50 人	—	H28年度から自治会活動等支援事業へ統合
	事業費	0 千円	39 千円	— 千円	
市民協働推進事業	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	756 人	900 人	900 人	
	事業費	3,379 千円	3,185 千円	3,254 千円	
自治会活動等支援事業	セミナー参加者数	30 人	50 人	60 人	H28年度から協働を担う人材育成事業を吸収
	事業費	490 千円	197 千円	142 千円	

◇推進プログラム１Ａ－③ 協働に取り組むための組織づくり

<課題>

- 市民協働に関する情報発信を強化
- 自治会と市民活動団体との協働事業の伸展
- 自治会と市民活動団体双方の情報共有

<取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するため、自治会活動及び市民協働に関するホームページを整備
- ・自治会等に対する市民活動団体による出前講座情報を整備

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
市民協働推進事業 【重複】 1 A－②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	756 人	900 人	900 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

戦略プロジェクト１Ｂ 大学が活躍するまちづくり

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に４つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標１Ｂ－１ 大学及び学生等との連携事業数（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
28	32					35

< 28年度の方針 >

戦略プロジェクト１Ｂ「大学が活躍するまちづくり」では、成果指標１Ｂ－１で、初期値と比較し４件増加したが、引き続き目標である３５件に近づけるために、個別事業を着実に進めるほか、大学・商工会議所・市との包括連携協定に基づき、様々な分野での連携を進めるため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「大学の得意分野を活かした地域の活性化」では、大学教員による出前講座と未来戦略などに関する研究に引き続き支援を行う。

◆推進プログラム②「知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進」では、「えべつ市民カレッジ」の市民周知方法の拡充を図るとともに、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を引き続き実施する。

◆推進プログラム③「学生の力を活かしたまちづくり」では、学生の視点からまちづくりの提案を募集する学生コンペティションを開催することで、学生のまちづくり活動の促進を図るとともに、市内大学と道内自治体や市内関係団体と連携して、地域・企業等での市内大学の大学生の地域活動などの受入れをマッチングすることにより、広域的視点による大学生の地域定着を促す。

◇推進プログラム１Ｂ－① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

< 課題 >

- 大学と地域、企業との連携促進
- 大学連携補助金を利用した研究の有効活用

< 取組の概要 >

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域（自治会や企業等）で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政の緊急課題に関する研究に対し助成

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数	0 人	400 人	100 人	
	事業費	0 千円	44 千円	44 千円	
大学連携調査研究助成事業	補助事業本数	4 件	3 件	4 件	
	事業費	2,485 千円	3,020 千円	3,039 千円	

◇推進プログラム１Ｂ－② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

< 課題 >

- 地域を創造する人材を育成するための多様な学習機会の提供
- 大学や関係団体との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫

< 取組の概要 >

- ・ふるさと江別塾と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施
- ・自治会回覧、広報えべつ折込チラシ等周知方法の拡充

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	えべつ市民カレッジ講座数	105 講座	100 講座	110 講座	
	事業費	194 千円	385 千円	1,478 千円	

◇推進プログラム１Ｂ－③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- 学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 地域のイベントへの学生の参加
- 広域的視点による市内大学生の地域定着

<取組の概要>

- 学生の力をまちづくりに活かすために、地域活動やまちづくりに資する学生の活動に対する支援、補助等
- 学生のボランティア活動を支援
- 市内大学と他自治体や関係団体とが連携し、大学生の知的資源の活用に対して地域、企業等での受入れをマッチング

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業本数	5 件	3 件	4 件	
	事業費	241 千円	330 千円	325 千円	
学生地域定着自治体連携事業	市内の地域活動に参加した延べ学生数	—	—	1,078 人	H28事業費をH27補正前倒し
	事業費	— 千円	— 千円	0 千円	

戦略4 えべつの魅力発信シティプロモート

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 総務部 関係部局 企画政策部、生活環境部、経済部

めざす姿

- 効率的・効果的な情報収集・発信が行われ、市民との情報共有が図られています。
- シティプロモートにより、道内・道外における江別市の認知度が向上します。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績		予算額				
	H26年度		H27年度		H28年度		
					当初	H27補正	計
4 A ニーズにあわせた効果的な情報発信	13,970 (9,680)	千円	5,443 (24,843)	千円	36,613 (24,848)	(9,140)	36,613 (33,988)
計	13,970 (9,680)	千円	5,443 (24,843)	千円	36,613 (24,848)	(9,140)	36,613 (33,988)

※（ ）は他戦略との重複分

※H27年度はH26年度補正前倒し含む

戦略プロジェクト4 A ニーズにあわせた効果的な情報発信**【プロジェクトの目標】**

情報収集と発信の仕組みを再構築して江別市の情報戦略を確立し、対象と目的を明確化することで、ニーズにあわせた効果的な情報発信に取り組んでいきます。特に、まちの魅力を高めるために重点的に推進する取組を積極的にPRし、市民や企業などの主体と行政が、一体的に情報発信に取り組むことで、「戦略1」から「戦略3」までの効果的なプロモーションの推進を図るとともに、江別市の認知度向上をめざします。

◆成果指標4 A-1 江別市の認知度の道内順位（単位：位）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
20	19					18

◆成果指標4 A-2 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合（単位：%）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
41.4	28.5					50.0

<28年度の方針>

戦略プロジェクト4 A「ニーズに合わせた効果的な情報発信」は、引き続き関係団体と連携し江別市の認知度とイメージを高めるための事業を総合的・戦略的に実施するため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「市民や企業などが主体となるまちづくり情報発信の促進」では、引き続き市民参加や市民協働によるまちづくりの普及に努めるほか、SNSを活用した情報発信を行う。

◆推進プログラム②「江別市に来てもらうための観光・産業情報の発信」では、首都圏の食関連事業者等を対象に江別の食材やフード特区の取組をPRするイベントや首都圏の企業訪問等を実施することにより、市外企業とのネットワークの拡大・深化を図る。また、江別産農畜産物ブランディング事業でブランド化小麦製品の維持拡大を、地域発見魅力発信事業でノハナショウ群生地での保存活用やPR等を行うことにより江別の認知度向上を図る。

◆推進プログラム③「江別市に住んでもらうための生活情報の発信」では、ウエルカム江別事業で移住促進パンフレット「えべつのじかん」などの冊子のほか、大学生と市でえべつプロモーション動画を作成し、子育て世代を軸にPRする。

◆推進プログラム④「江別市のイメージづくり」では、えべつシティプロモーション事業でスマートフォン用アプリを活用した地域PRを新たに実施するほか、引き続きフリーペーパーの活用や「江別シティプロモート推進協議会」による各種実践活動などを通じて、都市イメージの向上を図る。また、ふるさと納税普及促進事業では、絶好のシティプロモートの機会を逃さないため、特産品の贈呈区分を見直し、より多くの方に江別の特産品の良さを知ってもらうよう努める。

◇推進プログラム４Ａ－① 市民や企業などが主体となるまちづくり情報発信の促進

<課題>

- 江別市の知名度や認知度の向上
- 行政だけで情報発信するのではなく、市民や企業も江別の魅力を知り、官民一体による情報発信の取組

<取組の概要>

- ・市民への情報提供と情報共有
- ・市民参加・市民協働意識の啓発
- ・シティプロモート戦略に基づく取組の推進（協働を知ってもらう啓発事業、市民協働推進事業等を通じ、協働の取組をプロモーション）
- ・市内各団体等との連携による情報発信

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
協働を知ってもらう啓発事業【重複】１Ａ－①	啓発を受けた小学生	2,370 人	1,943 人	1,006 人	
	啓発を受けた中学生	—	—	1,057 人	
	事業費	(1,149) 千円	(466) 千円	(1,020) 千円	
市民協働推進事業【重複】１Ａ－②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	756 人	900 人	900 人	
	事業費	(3,379) 千円	(3,185) 千円	(3,254) 千円	
えべつシティプロモーション事業【重複】４Ａ－④	江別市の認知度の道内順位	19 位	20 位	19 位	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム４Ａ－② 江別市に来てもらうための観光・産業情報の発信

<課題>

- 市外の食関連企業に対し、江別におけるフード特区の取組を知ってもらう
- 市外食関連企業と江別市の取組状況を適時に共有するネットワークの構築
- 市内企業の受注基盤の調査・発信など、市内外企業双方のニーズの把握
- 江別市の知名度や認知度の向上
- 江別市への関心や興味の向上
- 江別市の取組やポテンシャル等の市内外への浸透
- 江別の特産品や観光情報等の発信

<取組の概要>

- ・ＰＲ活動等を通じた市外食関連企業とのネットワークの構築
- ・市外食関連企業とのネットワークの維持・発展・深化
- ・企業間情報の共有、産学官ネットワークの活性化
- ・シティプロモート戦略に基づく取組の推進（江別産農畜産物ブランディング事業、地域発見魅力発信事業、江別アンテナショップGET'S管理運営事業等を通じた産業・観光情報のプロモーション）
- ・効果的な媒体や手法による江別や江別ブランドのＰＲ（企業誘致、観光誘客等、目的やターゲットに応じた効果的なプロモーションの推進）
- ・シティプロモーション推進体制の構築と戦略の策定（市内企業、大学、団体等との連携により今後の戦略を決定）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
総合特区推進事業【重複】２Ａ－④	食関連企業の新増設数	—	2 社	2 社	H27事業費の一部をH26補正前倒し (6,500) 千円 H28事業費の一部をH27補正前倒し (6,500) 千円
	事業費	— 千円	(8,470) 千円	(5,524) 千円	
緊急雇用創出事業（フード特区プロモーション事業）	新規雇用者数	2 人	—	—	H26事業終了。事業の一部を「総合特区推進事業」で引き続き戦略事業として実施
	直接情報交換が可能となった企業数	93 社	—	—	
江別産農畜産物ブランディング事業【重複】２Ｂ－②	特産品の認知個数	2 品目	2 品目	2 品目	H27事業費をH26補正前倒し (3,207) 千円 H28事業費をH27補正前倒し (2,640) 千円
	事業費	(2,300) 千円	(0) 千円	(0) 千円	
地域発見魅力発信事業【重複】２Ｄ－①	主要観光施設観光入込客数	147,407 人	129,000 人	240,000 人	
	事業費	(2,852) 千円	(3,015) 千円	(5,351) 千円	
江別アンテナショップGET'S管理運営事業【重複】２Ｄ－①	アンテナショップ来店者数（市外）	—	—	3,750 人	H28新規事業
	事業費	— 千円	— 千円	(9,699) 千円	
えべつシティプロモーション事業【重複】４Ａ－④	江別市の認知度の道内順位	19 位	20 位	19 位	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム 4 A-③ 江別市に住んでもらうための生活情報の発信

<課題>

- 江別市の知名度や認知度の向上
- 江別市への関心や興味の向上
- 江別市の取組やポテンシャル等の市内外への浸透

<取組の概要>

- ・シティプロモーション推進体制の構築と戦略の策定（市内企業、大学、団体等との連携により今後の戦略を決定）
- ・シティプロモート戦略に基づく取組の推進（江別市の住環境（教育環境や子育て環境等を含む）や取組、優位性等を対象ごとに的を絞りプロモーションを推進）
- ・子育て世代に向けた江別の住環境や生活情報のPR（ウエルカム江別事業等を通じた情報発信）
- ・江別の取組や制度等の内外への発信

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
ウエルカム江別事業	パンフレット等配布部数（年間）	18,000 部	23,000 部	33,000 部	
	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	27,988 件	22,700 件	24,500 件	
	事業費	2,880 千円	2,640 千円	2,625 千円	
えべつシティプロモーション事業 【重複】 4 A-④	江別市の認知度の道内順位	19 位	20 位	19 位	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム 4 A-④ 江別市のイメージづくり

<課題>

- 地域愛着心の向上
- 江別市への知名度や認知度の向上
- 江別市に関心や興味を持ってもらう
- 江別市の取組やポテンシャル等の市内外への浸透

<取組の概要>

- ・シティプロモーション推進体制の構築と戦略の策定（市内企業、大学、団体等との連携により今後の戦略を決定）
- ・シティプロモート戦略に基づく取組の推進
- ・市内各団体等との連携による情報発信（各構成メンバー自らが具体的な情報発信）

事務事業	指 標	H26年度	H27年度(予算)	H28年度(予算)	備 考
ふるさと納税普及促進事業	ふるさと納税者数	105 人	180 人	4,000 人	
	事業費	1,157 千円	1,534 千円	30,155 千円	
えべつシティプロモーション事業	江別市の認知度の道内順位	19 位	20 位	19 位	H27事業費は H26補正前倒し 1,269 千円
	事業費	983 千円	0 千円	3,833 千円	
ウエルカム江別事業 【重複】 4 A-③	パンフレット等配布部数（年間）	18,000 部	23,000 部	33,000 部	
	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	27,988 件	22,700 件	24,500 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	